

第5章

日英対訳辞書

日英対訳辞書は日英対訳辞書レコードをかな見出しの五十音順に並べたものである。日英対訳辞書レコードは、レコード番号、見出し情報、文法情報、意味情報、対訳情報、管理情報から構成される。日英対訳辞書の基本的な役割は、日本語単語見出しと概念の対応関係を記述し、この対応関係が成り立つ時の英語の対訳を与えることである。

===== [日英対訳辞書レコードの構造] =====	
<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<見出し情報>	: (→5. 1節)
<単語見出し>	:活用語尾つき見出し表記とその読み (→5. 1節)
<文法情報>	: (→5. 2節)
<品詞>	:品詞 (→5. 2節, 表5-1)
<意味情報>	: (→5. 3節)
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号 (→5. 3. 1節)
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し (内容語のみ→5. 3. 2節)
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明 (内容語のみ→5. 3. 2節)
<日本語概念説明>	
<英語概念説明>	
<対訳情報>	: (→5. 4節)
<訳語情報>。。。	:訳語の表記と文法的情報
<訳語種別>	:訳語の種類 (→5. 4. 2節)
<訳語表記>	:訳語の表記 (→5. 4. 3節)
<訳語品詞>	:訳語の品詞 (→5. 4. 4節)
<管理情報>	: (→5. 5節)
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

```

===== [日英対訳辞書レコードの例(名詞)] =====
<レコード番号> JEB0185228
<見出し情報>
  <単語見出し>
    <漢字見出し> 弁天
    <かな見出し> ベンテン
<文法情報>
  <品詞> 普通名詞
<意味情報>
  <概念識別子> 1084e3
  <概念見出し>
    <日本語概念見出し> 弁天[ベンテン]
    <英語概念見出し>
  <概念説明>
    <日本語概念説明> 禅寺の住職の妻
    <英語概念説明> wife of the chief priest of a Zen
    Buddhist temple
<対訳情報>
  <訳語情報>
    <訳語種別> 0
    <訳語表記> wife of chief zen-priest
    <訳語品詞> 名詞及び名詞句、名詞節
<管理情報>
  <管理履歴レコード> DATE="95/2/15"

```

```

===== [日英対訳辞書レコードの例(動詞)] =====
<レコード番号> JEB0368581
<見出し情報>
  <単語見出し>
    <漢字見出し> さえずる
    <かな見出し> サエズ・ル
<文法情報>
  <品詞> 動詞
<意味情報>
  <概念識別子> 3bbd74
  <概念見出し>
    <日本語概念見出し> さえずる[サエズ・ル]
    <英語概念見出し>
  <概念説明>
    <日本語概念説明> 舞楽において、朗詠する
    <英語概念説明> in Japanese court dance and music, to
    recite
<対訳情報>
  <訳語情報>
    <訳語種別> 0

```

<訳語表記>	recite <bunraku>
<訳語品詞>	動詞及び動詞句
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	DATE="95/2/15"
=====	
===== [日英対訳辞書レコードの例(名詞)] =====	
<レコード番号>	JEB0393608
<見出し情報>	
<単語見出し>	
<漢字見出し>	狂言
<かな見出し>	キョウゲン
<文法情報>	
<品詞>	普通名詞
<意味情報>	
<概念識別子>	3c0380
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	狂言[キョウゲン]
<英語概念見出し>	kyogen
<概念説明>	
<日本語概念説明>	能楽の合い間に演ずる喜劇
<英語概念説明>	a comedy which is played during the intermission of a Japanese Noh play
<対訳情報>	
<訳語情報>	
<訳語種別>	1
<訳語表記>	comic interlude
<訳語品詞>	名詞及び名詞句、名詞節
<訳語種別>	1
<訳語表記>	Noh comedy
<訳語品詞>	名詞及び名詞句、名詞節
<訳語種別>	4
<訳語表記>	farce presented between Noh plays
<訳語品詞>	名詞及び名詞句、名詞節
<訳語種別>	3
<訳語表記>	kyo-gen
<訳語品詞>	名詞及び名詞句、名詞節
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	DATE="95/2/15"
=====	

5.1 見出し情報

見出し情報は、単語見出しからなっている。日本語単語辞書の見出し情報における「不変化部-連接属性対、かな表記、発音」については含んでいない。見出しとしては、日常生活で用いられる単語、一般化した専門用語や固有名詞、略語などが収録される。単語見出しは、漢字見出しとかな見出しからなる。かな見出しは、読みをカタカナで記述し更に活用語の場合は変化部と不変化部の境界を「・」で示したものを漢字見出しの後部の「[]」内に記述する。単語見出しは冊子体辞書における見出しにあたり、ある単語と他の単語との区別を人間が行ない易くするためのものである。単語見出しの異なり数を対訳辞書の語数という。

単語見出しの記述例

夕飯[ユウハン]
食べる[タベ・ル]

5.2 文法情報

文法情報は、品詞のみからなっている。日本語単語辞書の文法情報における「構文木、活用情報、表層格情報、相情報、機能語情報」については含んでいない。日英対訳辞書における品詞名一覧表を表5-1に示す。

5.3 意味情報

意味情報は、概念識別子・概念見出し・概念説明からなる。これは概念辞書の基本構成要素である概念に関する情報である。

人間はある単語を見たときに、その単語によって想起されるいくつかのイメージを思い浮かべることができる。このようなイメージの中で個別の状況に依存しない高い一般性を持つものを概念と呼ぶ。概念は、単語辞書において単語の多義性を識別するための情報であり、一般の辞書における語義に相当するが、言語に対して独立に設定される点が異なる。

5.3.1 概念識別子

概念識別子は数であり、概念の同一性を保持するためのものである。概念識別子は、すべての単語に記述されており、概念辞書へのリンク情報となっている。

5.3.2 概念見出しと概念説明

内容語には、概念識別子の他に概念見出しおよび概念説明が付されている。内容語は、自立した実質概念をもつ語で、日本語では、名詞類、動詞類、形容詞類、形容動詞類、副詞類、連体詞類、構文要素類がこれにあたる。

概念見出しには、その概念を代表するにふさわしい単語見出しが記述される。したがって、日本語固有の概念など、その概念を代表するにふさわしい英語単語見出しが存在しないものには、英語概念見出しが省略されることがある。

概念説明は、概念の文章などによる説明で、ある概念と他の概念との識別を人間が行ない易くするためのものである。

意味情報の記述例

概念見出し			概念説明	
漢字見出し	日本語概念見出し	英語概念見出し	日本語概念説明	英語概念説明
犬	犬[イヌ]	dog	犬という動物	an animal called dog
犬	スパイ[スパイ]	spy	スパイという役割の人	a person who spys

なお、概念に関するより詳細な記述は、「概念辞書」の章を参照されたい。

5.4 対訳情報

「対訳」とは、直観的には「見出しに対応する目的言語側の言語表現」であり、一般的に「訳語」と呼ばれるものである。しかし精密な対訳情報の記述を行なうためには、その性質や制約を明らかにしておく必要がある。

性質1: 対訳とは、「同じ意味内容を持つ」という関係で見出しと関係付けられた目的言語側の言語表現である。

性質2: 対訳は、見出しが持つ言語的性質(形態的、構文的、語用論的)となるべく近い性質を持つ目的言語側の言語表現である。

性質1は当然のことを述べたにすぎないが、見出しと訳語が同じ意味内容を持っていても、見出しと訳語の概念が完全に一致するとは限らない。よく知られた例では、日本語の「帽子」に対して「hat」と「cap」の2個の対訳があり、「ツバあり」、「ツバなし」という条件で訳し分けられる。つまり「頭にかぶるもの」という同じ意味内容を持つが、日本語の「帽子」の概念は英語の「cap」あるいは「hat」の概念よりも広いのである。本対訳辞書では、概念のずれを示すための「補助情報」を訳語表記を補足する情報として、対訳情報の一部として記述する。

性質2は、単に品詞レベルが一致するだけでなく、スタイルや対訳が使われる社会的状況(語用論的性質)が似るのが望ましいことを述べている。本対訳辞書ではこれら語用論的性質やスタイルなどの情報を一括してレジスター情報と呼び、訳語表記を補足する対訳情報の一部として記述する。

また、対訳を記述する上で重要なことは、語義別に記述することである。どの言語においても、見出しは複数個の意味を有する語(多義語)であるのが一般的であり、対訳は意味に応じて異なる。機械翻訳のような応用システムでは、原言語側で使われている意味に対応する訳語を選択することが重要であり、そのためには訳語が語義別に記述されていなければならない。例えば、「読み(ヨミ)」という日

本語の普通名詞は、次の3個の語義があり、各語義に対して以下のような訳語が対応する。

例

見出し語:読み

品詞:普通名詞

語義1:漢字の訓読み

対訳1:Japanese reading of a Chinese character

語義2:碁や将棋などで、先の局面の変化を見通すこと

対訳2:reading the upcoming moves

語義3:物事の内容や技術を理解する

対訳3:comprehension;reading

1個の語義に対する訳語の個数は、複数個でもかまわない。上記の例では、語義1は、「Japanese reading of a Chinese character, pronunciation」という2個の訳語を持つ。機械翻訳システムにおいては原言語が使われている意味によって訳語選択を行う必要があるため、当然語義毎に訳語が記述されていなければならない。日英対訳辞書では、5.3で述べた「意味情報」を語義の区別を利用して

日英対訳辞書における対訳情報は、訳語の個数分の訳語情報から成る。1個の訳語情報は対訳関係、訳語種別番号、訳語表記、訳語の品詞コードから成る。訳語表記中には後で述べる補足説明が記述される。つまり、対訳情報には訳語の表記だけでなく、訳語に関連した様々な情報が含まれる。

5.4.1 対訳関係

日英対訳辞書では、見出しと訳語の関係を以下のように分類している。まず、見出しの概念が訳語側に存在するか否かで「同義」であるか「非同義」であるかの2種類の関係に分類される。「同義」に関しては、更に見出しと訳語の概念一致の度合により「完全同義」と「部分同義」の2種類に細分類される。「完全同義」は見出しと訳語の概念がほぼ同一であるとみなせる場合の関係であり、「部分同義」は見出しと訳語の概念が部分的に同一である場合の関係である。「非同義」は、見出しに対応する概念が目的言語側に存在しない場合の関係である。

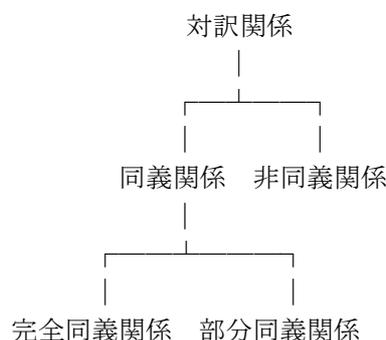


図5.1 対訳関係

これら、「同義、非同義、完全同義、部分同義」の関係を「対訳関係」と呼ぶ(図5.1)。対訳関係の値は日英対訳辞書レコード中に陽に記述されていない。これらは、5.4.2で述べる「訳語種別」

および5.4.3の「訳語表記」の記述形式によって区別される。「同義」と「非同義」の区別は「訳語種別」の番号で行われ、「0」ならば同義、「1、2、3、4」ならば「非同義」である。「同義」の中の「完全同義関係」と「部分同義関係」の区別は、「訳語種別」の番号が「0」であるもののうち、5.4.4で述べる「補足説明」の中の「見出し固有情報」、「訳語固有情報」、「典型例」のいずれかが訳語が付与されているものが「部分同義」の関係にある訳語である。また、「訳語種別」の番号が「0」であるもののうち、「補足説明」が記述されていない訳語が「完全同義」の関係にある訳語である。

5.4.2 訳語種別

訳語種別は、訳語の記述形式を表す情報である。日英対訳辞書には日本文化固有の概念を表す見出しも登録されており、そのような見出しに対しては訳語側の概念が存在しないので同義関係(完全、部分いずれも)にある訳語は存在しない。このような場合でも、訳語の代替となる何らかの情報を記述しておくのが望ましい。日英対訳辞書では、見出しと訳語が非同義関係にある場合、4種類の記述形式(パラフレーズ、逐語訳、ローマ字表記、説明文)を導入し、広義の訳語という位置付けで、訳語の代替とする。「訳語種別」はこれらの訳語記述形式を区別するための番号であり、次の値を持つ。

- 1: パラフレーズ
- 2: 逐語訳
- 3: ローマ字表記
- 4: 説明文

なお、同義関係にある訳語については一律「0」という訳語種別の値が付与される。これらの訳語記述例は5.4.4で示す。以下に「1, 2, 3, 4」の「訳語種別」の説明を述べ、訳語記述例を示す。

1 パラフレーズ

訳語側の言語世界に於いて存在する言い回し(言語表現)であり、その言語表現を使用することにより、見出し側の言語世界に於いて該当見出しを使用したのと同様の効果が得られる(類似の概念が想起される)。そのような効果を持つ言語表現を「パラフレーズ」と呼ぶ。

例

見出し	訳語
阿多福(オタフク)	old bitty

2 逐語訳

見出し表記を英語に直訳したもの。

例

見出し	訳語
敬老の日	Respect for the Aged Day

3 ローマ字表記

見出しの読みをローマ字表記で記述したもの。

例

見出し	訳語
阿多福(オタフク)	otafuku

4 説明文

見出しの概念を英語で説明したもの。

例

見出し	訳語
阿多福(オタフク)	moonfaced woman with prominent forehead, plump cheeks, and a short flat nose

5.4.3 訳語表記

日本語の見出し語に対する英語の訳語である。日英対訳辞書では半角文字で記述される。

外来語の訳語表記に含まれるアクセント記号は、アクセント記号を付与する文字の左にアクセント記号を挿入することによって示す。訳語表記に現われるアクセント記号には、以下のものがある。

アクセントの種類	アクセント記号	訳語表記の記述例
アクセサン・テギユ	(´) @<	attach@<e case
アクセサン・グラヴ	(`) @>	pret-@>a-poter
アクセサン・シルコンフレクス	(^) @^	ch@^ateau
テュー	(~) @@	se@@nior
ウムラウト(トレマ)	(¨) @:	M@:archen
セディーク	@&	gar@&con

訳語表記中には、様々な具体的な単語をとりうる代表語が含まれる場合がある。代表語のリストを以下に示す。

代表語	定義
*someone	動詞句の訳語中に現われ、人を指す名詞
*something	動詞句の訳語中に現われ、物を指す名詞
*one	動詞句の訳語中に現われ、主語と同じものを指す名詞
*someone else	動詞句の訳語中に現われ、人を指し、*someone と共起する名詞
*something else	動詞句の訳語中に現われ、物を指し、*something と共起する名詞
*someone's	動詞句の訳語中に現われ、主語と異なる人を指す名詞の所有格
*something's	動詞句の訳語中に現われ、主語と異なる物を指す名詞の所有格
*one's	動詞句の訳語中に現われ、主語と同じものを指す名詞の所有格
*his/her	目的語と同じ人を指す名詞の所有格
*oneself	再帰代名詞
*place	単数の場所
*places	複数の場所
*place's	場所の所有格
*person	名詞句の訳語中に現われ、人を指す単数の名詞
*persons	名詞句の訳語中に現われ、人を指す複数の名詞
*person's	名詞句の訳語中に現われ、人を指す単数の名詞の所有格
*thing	名詞句の訳語中に現われ、物を指す単数の名詞
*things	名詞句の訳語中に現われ、物を指す複数の名詞
*thing's	名詞句の訳語中に現われ、物を指す単数の名詞の所有格
*A	人又は物を指す名詞
*B	人又は物を指す名詞。訳語表記中に「人又は物を指す名詞」の代表語が2箇所出現する場合に2番目のものを指す
*C	人又は物を指す名詞。訳語表記中に「人又は物を指す名詞」の

	代表語が3箇所出現する場合に3番目のものを指す
*do	動詞
*doing	動詞の現在分詞
*adj	形容詞又は形容詞句
*adv	副詞又は副詞句、副詞節

訳語表記中には5.4.4で述べる「補足説明」が記述される場合がある。

5.4.4 補足説明

補足説明は、主に部分同義関係にある訳語に付与される情報であり、見出しあるいは訳語の意味的制約や訳語中の典型例を記述するものである。補足説明には以下の4種類がある。

見出し固有情報
 訳語固有情報
 典型例
 レジスター情報

これらの内容は下記の通りである。なお、補足説明はあくまでも人間が参照することを目的として付与された情報である。現実問題として多くの実データでは以下の例のように明確に分類できるのはまれである。利用に際しては、その点に留意されたい。

(1) 見出し固有情報

見出しのみが持つ意味的な制約である。訳語表記中の構文的に正しい位置に'()'で記述される。見出し固有情報の記述形式には特に制約はない。

例	
見出し	訳語
兄	(older) brother

(2) 訳語固有情報

訳語のみが持つ意味的な制約である。訳語表記の先頭に、'<<>>'で記述される。訳語固有情報の記述形式には特に制約はない。

例	
見出し	訳語
主人	<<male>> host
主人	<<female>> hostess

(3) 典型例

英語で書かれた訳語中に、特定の語彙しか出現しないような場合、その代表的な語彙を'[]'で

訳語中に記述する。

例

見出し	訳語
たくし上げる	tuck up [sleeves]

(4) レジスター情報

レジスター情報は、見出し、訳語、あるいは両方のプラグマティックな情報を記述するものであり、「スタイルレジスター」、「時代レジスター」、「フォーマルレジスター」、「言語レジスター」、「社会レジスター」に分類される。レジスター情報は、訳語表記の前後に'〈〉'で記述される。見出し固有のレジスター情報の場合は訳語表記の先頭に、見出しと訳語に共通なレジスター情報の場合は訳語表記の後尾に、訳語固有のレジスター情報の場合は訳語表記の先頭に'〈c:〉'で記述される。具体的値は以下の通り。

(a) スタイルレジスター

見出しや訳語の文体を表す情報である。値と意味は次の通り。

値	意味
〈colloq.〉	口語体
〈sl.〉	俗語
〈poet.〉	詩的
〈vul.〉	卑語
〈lit.〉	文語体
〈euphemism〉	えん曲表現

(b) 時代レジスター

見出しや訳語が現代語でない場合の情報。

値	意味
〈arch.〉	古語
〈his.〉	歴史的表現(概念が現在存在しない)

(c) フォーマルレジスター

見出しや訳語の敬語的な情報を表す

値	意味
〈honor.〉	尊敬語

<humble>	謙讓語
<pol.>	丁寧語
<belittling>	軽蔑語

(d) 言語レジスター

見出しや訳語が外来語の場合、源言語を示す。

例

<French>
<German>
<Spanish>
...

(e) 社会レジスター

見出しや訳語が特定の場面や社会的状況でのみ使用される場合、その特定の場面や社会的状況を記述する。記述形式は任意である。

例

見出し	訳語
老台	<used towards old men; honor.> you

5.4.5 訳語の品詞

日英対訳辞書では訳語には品詞を付与している。訳語の品詞の品詞分類は英語単語辞書の見出しに付与された品詞よりも若干簡略化されている。訳語の品詞が複数個存在する場合は、';'で区切って列挙する。訳語の品詞のコード、品詞分類、訳語の例を表5-2に示す。なお、日英対訳辞書では訳語の記述について特に制約を設けていないため、訳語文字列全体に対する適切な品詞付与が困難な場合もある。あくまで本情報は参考データとして利用されたい。

5.5 管理情報

日英対訳辞書では、管理情報として「管理履歴レコード」という項目を持つ。本項目には更新日付など任意のコメントを記述する。

5. a 諸表

表5-1	日本語品詞名
表5-2	訳語の品詞

表5-1 日本語品詞名

類	品詞名	コード	例	説明
名詞	普通名詞	JN1	太陽、山	格助詞「が、を」が後続するもの。
	固有名詞	JN2	日本	地名、人名、製品名など、固有につけられた呼び名。
	数詞	JN3	0、1	アラビア数字、ローマ数字、漢数字など、数字列を構成する数字そのものおよび数字のけたを表わすもの。数字の列がまとまった、量日時を表わすものは含めない。
	時詞	JN4	今日、皆	同じ概念で、名詞(「が、を」を後接して、述語にかかる)にも、副詞(格助詞なしで述語にかかる)にもなるもの。時を表わす単語とは限らず、量や程度を表わす単語など、名詞であり、かつ副詞である構文的機能を持つものを含む。
	形式名詞	JN7	こと、もの	必ず、連体修飾句に修飾されて成り立つ名詞で、それ自体では、指示するものが限定できない不完全な概念を表わす単語である。
動詞	動詞	JVE	走(る)、 和(する)、 勉強(する)	終止形が母音ウで終わる活用する自立語。名詞にも動詞にもなるサ変名詞にも動詞(JVE)を付与する。すなわち、サ変名詞の品詞は、JN1;JVEである。
形容詞	形容詞	JAJ	美(い)、 な(い)	終止形がイで終わる活用する自立語。
形容動詞	形容動詞	JAM	静か(だ)、 同じ(だ)、 感動的(だ)、 堂々(たる)	(1)終止形がダで終わる活用語。連体形は基本的にナであるが、ノを介して、あるいは直接に連体修飾になる場合もある。名詞に近いものもあるが、名詞との差異は、「が、を」を後接しないことである。 (2)連体形タル、連用形トをとるもの。
副詞	普通副詞	JD1	すっかり、ほぼ	基本的に、そのまま、連用修飾語となることができる。量や程度や様態を示す名詞については、「の」を伴って名詞を修飾することもできる。
	陳述副詞	JD2	たぶん	文全体の表現意図にかかわる部分を修飾する語となる。
連体詞	連体詞	JNM	ある、いかなる	連体修飾語にしかない単語。指示連体詞もむ。
接続詞	文接続詞	JC1	それで、しかし	文全体にのみかかる接続詞。
	単語接続詞	JC3	または、および	単語または句または文を結ぶ接続詞。

表5-1 日本語品詞名 (続き)

類	品詞名	コード	例	説明
接頭語	形容詞的接頭語	JT1	若(主人)、 安(月給)	形容詞、形容動詞の語幹の形をした接頭語。
	副詞的接頭語	JT2	再(入国)、 真(新しい)	副詞の形をした接頭語。
	連体詞的接頭語	JT3	各(家庭)	連体詞の形をした接頭語。
	接頭小辞	JT4	ど(あほう)、 お(茶わん)	敬語や強調など、用法上の接頭語。
	前置助数詞	JN5	第、約	数詞の前につく助数詞。
接尾語	接尾語	JB1	上、別	他の単語の語末について、複合語を形づくる。
	単位	JUN	メートル、ppm、 時、ダース	計測する対象の、計測基準量を表わす。数値がなくても(単独でも)、指示している実質概念がある点で、助数詞とは異なる。個数を数の集まりで数える「セット、組」も含む。
	後置助数詞	JN6	回、章	数や順序を示すのに、数えられるものを特徴づける接尾語。
語尾	動词语尾	JEV	か、き、く	動詞の活用語尾。
	形容词语尾	JEA	く、い、かつ	形容詞の活用語尾。
	形容動词语尾	JEM	な、だ、に	形容動詞の活用語尾。
構文要素				二つ以上の文節からなっていて、全体として、一つの構文要素となるもの。慣用句には、この類の品詞名が付与される。品詞名は、句全体の文法的機能からつける。
	体言句	JNP	背水の陣	
	述語句	JPR	足場を固める	
	連体修飾句	JAP	押すに押されぬ	連体修飾語として働く句。
	連用修飾句	JMP	雨が降ろうが 槍が降ろうが	連用修飾語として働く句。
	独立句	JIP	おそれ入谷の鬼子 母神	引用句として用いられる句。
	文	JSE	時は金なり	引用句として用いられる文。

表5-1 日本語品詞名 (続き)

類	品詞名	コード	例	説明
その他	助詞	JJ0	が、を、に	複数の単語の連続からなって、助詞相当の機能を持つもの。
	助詞相当語	JJ1	について	
	助動詞	JJD	せる、させる	複数の単語の連続からなって、助動詞相当の機能を持つもの。文全体の表現意図を表わすなど、陳述にかかわる部分を担う。
	助動詞相当語	JJP	てもかまわない、ねばならない	
	補助用言	JAX	始める、終る、すぎる、やすい	
	感動詞	JIT	おい、おや	単独で用言としても用いられる語で、助動詞相当の機能を持つもの。
	記号	JSY	A、B	
				単に、文字としての記号。実質的な概念を代替するにすぎない。実質的な概念を指示する略称などは名詞(固有名詞)とし、記号には含めない。

表5-2 訳語の品詞

訳語の品詞	品詞分類	例
EN	名詞及び 名詞句 名詞節	school shrine work the scene of an ancient battle mask of a woman with prominent forehead, plump cheeks, and a short nose what one says or does
EP	代名詞及び 代名詞相当語	he, she the other
EV	動詞及び 動詞句	visit visit to a shrine to offer \$one's thanks to the god
EA	形容詞及び 形容詞句	young healthy in spite of \$one's age
ED	副詞及び 副詞句及び 副詞節	hard a little while ago when \$one is just about to go out while a conversation is going on
EPR	前置詞及び 前置詞相当語	in, on, at all over
ET	限定詞	this, that
EAV	助動詞及び 助動詞相当語	can be able to
EIT	間投詞	
EC	接続詞及び 接続詞相当語	and, or, before, after as long as, now that, just before
EPF	接辞	ex-
EPP	前置詞句	in the midst of talking
ESE	文	A natural calamity will happen when we Least expect it
EUN	単位	rod, rd
ESY	記号	C